

任意団体 マングローブ植林行動計画

住民参加によるアグロフォレストリー推進 支援（ミャンマー・エーヤワディー河口域）

イベントの 延べ参加者数	100人
イベント参加者の 満足度	70%
活動の全体目標 に対する達成度	50%



地域住民との意見交換

◆成果と工夫したポイント

- 成果** コンニャク事業：①講義と実習（4回・延べ12日・参加者100人）、②三つの村に苗床センターを開設、③荒粉生産の技術移転、④ヤンゴン市場開拓。
野菜栽培：余剰の生産物を村の店に売り、利益を得た生産者がいた。
- 工夫** 住民と一緒に、栽培、コンニャク粉への製粉、食品加工（板コンニャク、ゼリー）までで現場で実習した。

課 題

①民生向上（約300円で暮らす人びと）、②森林保護（アグロフォレストリーの維持）、③コンニャク事業支援（栽培・加工・マーケティング）、④キッチンガーデン支援。

活動内容

- (1) コンニャク事業支援
 - 1) 栽培技術の確立にむけて：野生苗600本移植、活着率60%。
 - 2) 技術移転：荒粉生産（重さ1kg以上のコンニャク芋150個を加工）。
 - 3) マーケティング：荒粉15kgをヤンゴン市場に出す。売上金67,500チャット。栽培者に分配。
- (2) キッチン・ガーデン支援：ミャンマー産種子13種（成績良好）とベトナム産種子12種（成績不良）を希望者20名に配布。キッチン・ガーデンで栽培。



生育中のコンニャク（7月、苗床センター）

今後の課題

- (1) コンニャク事業①栽培技術の確立、②ムカゴ1万個の生産、③種芋の保存技術の確立、④荒粉製造技術の向上、⑤精粉製造技術の開発、⑥ヤンゴン市場のさらなる開拓。
- (2) 野菜栽培：キッチンガーデンの重要性の啓蒙。